8月 22 日（土曜日）「郷里で拒まれる」

【新改訳 2017】

ルカ　4.22-30

「みなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いた。そしてまた、『この人は、ヨセフの子ではないか』と彼らは言った。イエスは言われた。『…預言者はだれでも、自分の郷里では歓迎されません。』」（22-24 節）

　イエスは、郷里でありナザレの会堂で聖書を朗読し、また恵のことばも語りました。その人々は、それに驚いたりほめたりしましたが、やはり、「ヨセフの子ではないか」というのが「落ち」だったようです。つまり、一人の優れた人物以上には見なかったのです。先入観が妨げとなり、この方が自分たちの待望していたメシヤであるとは信じられなかったのです。そのため、イエスの奇跡的なわざも見られませんでした。

　イエスは、歓迎されないところであえて恵みのわざをしようとはなさいませんでした。今日も霊的には同様です。私たちはぜひ、イエスをキリスト（メシヤ）と信じ、喜ん

で受け入れ、救いとさまざまな恵みにあずからせていただきましょう。

～祈り～

主よ。私たちが、いろいろな先入観で、あなたを小さくしたり、あなたのみわざを制限してしまう誤りからお救いください。

【学びのために】

私たちの先入観（念）の影響の大きさを甘く見てはいけないと思います。先入観がすべて悪いという意味ではありません。しかし、神のみわざは、私たちの思いや考えを超えることがよくありますから、それを知るためにも注意しなければなりません。